

揖斐川町 シェッド長寿命化修繕計画



東横山ーメタルー01

平成 28 年 12 月
(令和 8 年 8 月更新)



岐阜県 揖斐川町 産業建設部 建設課

1. 道路施設（シェッド）の現状と課題

1. 1 現状と課題

- 揖斐川町が管理する供用中のシェッドは令和7年3月31日現在4施設あり、すべて道路改良に伴い県から移管された路線に設置された施設で、県管理道路の時に通行者の安全確保等のため、山間部・積雪地域の路線に設置されました。
- 点検による確実な状態把握、点検結果に基づく措置が必要となっています。

1. 2 計画対象（町内道路の路線数と延長）

- 揖斐川町は、1,359路線（611km）の町道を管理しています。（R7.3.31現在）

種別	路線数	総延長
1級町道	40	49.0 km
2級町道	56	54.7 km
その他町道	1263	507.3 km
計	1359	611.0 km

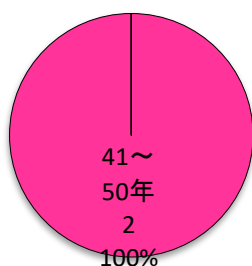
1. 2 計画対象（シェッド）

- 町内のシェッドは3路線、4施設あります。（R7.3.31現在）
- 久瀬管内に1施設、藤橋管内に各1施設、坂内管内に2施設が設置されています。

1. 3 建設後の経過年数

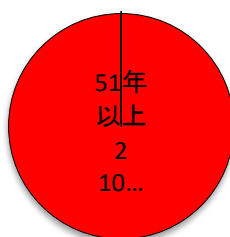
- 久瀬及び藤橋管内の施設は建設年次が不明。
- 現在（2025年）、坂内管内2施設の建設後経過年数は43年です。
- 10年後には50年を超える施設となります。

2025年現在

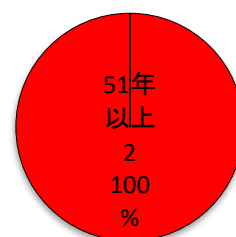


■ 51年以上 ■ 41~50年 ■ 31~40年
■ 21~30年 ■ 11~20年 ■ 10年以下

10年後



20年後



2. 1 基本方針

-
- A photograph of a blue bridge with a blue truck underneath it. The truck is positioned in the center of the bridge, and two orange traffic cones are placed on the road surface in front of it. The bridge is surrounded by trees and foliage.

診断

記録

措置

[illegible]

記録： 各種点検結果、補修等の履歴を記録保存する。

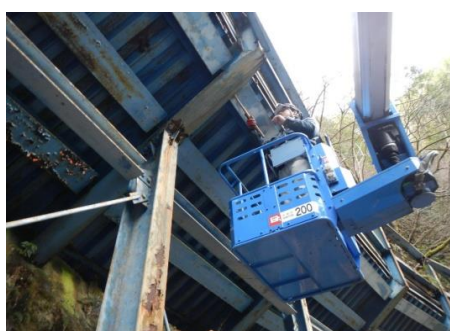
2. 1 定期点検・診断

○シェッドの点検については、下記の定期点検要領等に基づき、5年に1度、近接目視による点検を実施し、結果については4段階で区分します。

シェッド・大型カルバート等定期点検要領（令和6年3月 国土交通省 道路局）
岐阜県シェッド点検マニュアル（令和2年3月 岐阜県県土整備部 道路維持課）

※定期点検要領等が改訂された場合、最新の定期点検要領等に基づき実施する。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

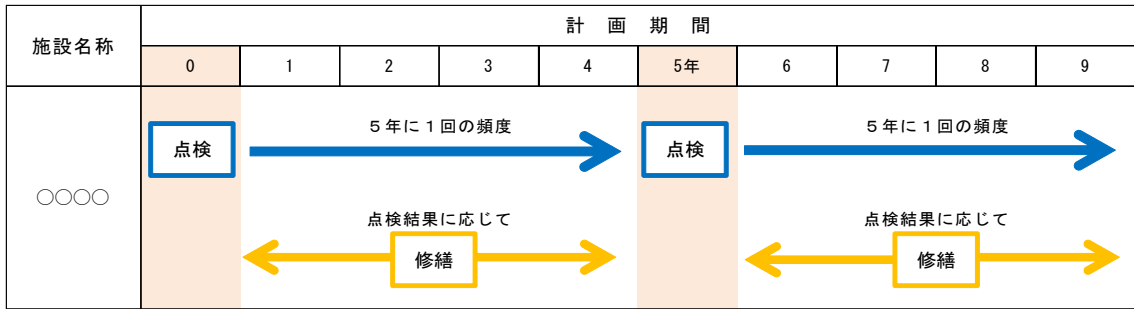


近接目視による点検状況

3. 計画期間

3. 1 計画期間の考え方

- 定期点検サイクルを踏まえ点検間隔が明らかとなるよう、計画期間は10年とします。
- 計画期間（2024年度～2033年度）における老朽化対策等は、別紙「シェッド長寿命化修繕計画一覧表」のとおり。
- 点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新します。



4. 対策の優先順位

4. 1 優先順位の考え方

- 点検結果に基づき、効果的な維持及び補修が図られるよう必要な措置を講じます。
- 対策の優先順位は、損傷程度や損傷位置からみる施設の健全性の他、迂回の可否または難易からみるネットワーク、路線の重要性、第3者への影響などから総合的に勘案して判断します。

5. 施設の状態、対策内容、実施時期

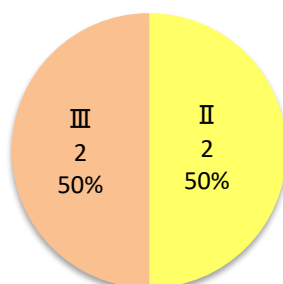
5. 1 シェッドの状態

○揖斐川町が管理するシェッド4施設の点検を令和4年度に実施し、その結果は、判定区分Ⅰ：0施設、Ⅱ：2施設、Ⅲ：2施設、Ⅳ：0施設となっています。

○判定区分Ⅲの損傷は、腐食・防食機能の劣化が一番多くなっています。

○メンテナンスサイクルを継続的に廻すことで、シェッドを長期間にわたって健全な状態に保つことが可能となります。

二巡目（R1～R5）点検結果



判定区分	判定結果
Ⅰ	0
Ⅱ	2
Ⅲ	2
Ⅳ	0
計	4



主梁の腐食



支承部ボルトの腐食

5. 2 対策内容

○健全性の診断に基づきシェッドの状態等を十分に把握し、効率的な維持及び修繕が図られるよう、必要な措置を実施します。

○対策事例として、塗装の劣化に対しては塗装塗替工を、コンクリートのひび割れ、うき剥離等に対しては、ひび割れの進行を抑制する工法や剥離対策工等を実施することで、機能を維持します。

5. 3 実施時期

- 実施時期は、点検結果及び維持補修の効率化等を踏まえ決定します。
- 計画期間における対策の実施時期は、別紙「シェッド個別施設計画」のとおりです。
- 平成26年度からの一巡目点検結果では、早期措置が必要な施設は4施設でした。
これまでに2施設の補修が完了しています。

6. 新技術等の活用方針

- 令和9年度までに、管理するシェッド4箇所の点検で新技術を活用し、従来技術を活用した場合と比較して、約40万円のコスト縮減を目指します。

7. 集約化・撤去に関する方針

- 集約化・撤去対象の検討を行った結果、管理する施設は国道や県道の迂回機能を有する重要な路線のほか、山間部に位置しており、隣接する迂回路がない路線であるため、集約化・撤去を行うことが困難です。
今後、周辺の道路環境や施設の利用状況の変化を踏まえて、再度検討を行います。

揖斐川町シェッド個別施設計画

※本計画は、予算措置状況など必要に応じ見直しを行っていきます。

諸元												直近の点検結果		次回 点検 年度	修繕計画（测试:△ 修繕工事:○）										修繕内容	対策の 着手年度	完了 予定年度	対策に係 る全体概 算事業費 （百万 円）	備考
施設名		路線	建設年次	延長 (m)	幅員 (m)	起点側の位置			緊急輸送 道路	代替路の有無	通行規制	点検 年度	判定 区分																
シェッド名	(フリカナ)	路線名				管内	緯度	経度					I～IV																
東横山－メタルー01 [スノーシェットA]	(ヒガシヨコヤマ－メタルー01)	町道藤橋下山線	不明	14.3	6.1	藤橋	35.576131度	136.471967度	無し	有	無し	R4年度	Ⅱ	R9年度											塗装塗替工ほか	H28 (2016)	H29 (2017)	14	
刈安－メタルー01 [刈安洞門1]	(カリヤス－メタルー01)	町道坂内漆谷線	1982	21.1	4.6～ 5.9	坂内	35.602275度	136.388722度	無し	有	無し	R4年度	Ⅱ	R9年度											塗装塗替工ほか	H28 (2016)	R1 (2019)	13	
刈安－メタルー02 [刈安洞門2]	(カリヤス－メタルー01)	町道坂内漆谷線	1982	16.5	5.0～ 5.6	坂内	35.602200度	136.388100度	無し	有	無し	R4年度	Ⅲ	R9年度					△	○					塗装塗替工ほか	H28 (2016)	R11 (2029)	14	第三者被害の 危険性は低い
小津－メタルー01 [スノーシェット]	(オツ－メタルー01)	町道久瀬東津汲小津線	不明	15.0	4.0	久瀬	35.568156度	136.517636度	無し	有	通行止め (その他)	R4年度	Ⅲ	R9年度					△	○					集約化・撤去	R10 (2028)	R11 (2029)	5	集約化検討中